

のむら復興まちづくりデザインワークショップ実施要領

1 目的

西予市復興まちづくり計画に基づき、安心・安全のまちづくりと住まいの再建、商店街を拠点とした地域活性化や公共施設等の配置を含め、地域の発展につながる復興まちづくりのあり方について、住民、各種団体、大学、教育機関、企業、行政らが一堂に会し、共にアイデアを出し合う場（ワークショップ）を設け、多様な主体の協働（総働）のもと、野村地区の将来像を描いていきます。

2 名称 のむら復興まちづくりデザインワークショップ

3 主催 西予市 （協力）愛媛大学 名城大学

4 参加者

- (1) 野村地区内自治会及び社会教育団体等の公的団体代表者を案内する。
- (2) 西予市民、市ホームページ及び防災無線を通じて、西予市内在住者から募集する。参加希望者は、復興支援室（72-0843）まで申し込みをする。

5 運営方針

- (1) 参加者の報酬は無報酬とします。
- (2) 西予市復興まちづくり計画に基づき、「新たな魅力あるまちづくりを進める」という考えのもと、地域の課題や将来像、地域構想について意見交換、議論を行い、その結果をまとめます。
- (3) 結果は西予市ホームページにて、随時、公開します。

6 実施時期と回数

原則2カ月に一回（年5回）開催を予定しています。
（※年度開催計画：5月、8月、10月、12月、2月）

7 ワークショップの具体的な方法について

ワークショップでは、進行・調整役（ファシリテーター）のもと、少人数のグループに分かれて、それぞれ参加者が意見を出し合いながら、全体の意見となるようまとめていきます。一人ひとりの意見

をふせんに書き出し、大きな紙に貼りながら、関係する内容をグループ化し、整理します。また、出された意見に対しては、その背景や原因を考え、課題を抽出します。最後にグループごとにまとめた意見を発表することで、全体で意見の共有を図ります。

8 その他

- ・ワークショップの様子は、記録のために写真・動画撮影をします。
- ・撮影した写真等は、市ホームページや広報等で使用することがあります。